

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Aさん
所属・学年	____ 法 ____ 学部 ____ 法 ____ 学科・専攻 ____ 4 ____ 年
プログラム実施 大学名	モンタナ州立大学 (国名： アメリカ)
プログラム期間	2021 年 9 月 8 日 – 2021 年 9 月 24 日
プログラム参加 の目的	英語のスピーキング力向上のため
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュー ル等)	ビデオ視聴後の内容に関するディスカッション、発音練習、プレゼンテーション2回、キャンパスツアー、ゲーム

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

初日からすべて英語で話すことで、自分が伝えたいことをどう英語で話すか考え、何かしらの表現をする力を培った。モンタナに関する題材を扱うことが多かったので、モンタナの自然や文化、人々の暮らしを知り異文化理解が深まった。またプレゼンテーションの発表前には練習する時間も設けていただき、そこでアドバイスを貰ってプレゼンの基礎や英語での表現の仕方を身につけることができた。

プログラム参加全体を通しての感想

英語だけで会話をする環境に身をおいたことで、自分のスピーキングスキルを改めて把握、向上させる機会となった。先生方との会話を通して、聞き取ることが難しかったこともしばしばあったが、ネイティブの表現方法やスラングを知り、もっと自分の英語力を高めてスムーズにコミュニケーションが取れるようになりたいと思った。

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Bさん
所属・学年	工 学部・大学院 情報電気工 学科・専攻 3 年
プログラム実施 大学名	モンタナ州立大学 (国名：アメリカ合衆国)
プログラム期間	2021 年 9 月 8 日 — 2021 年 9 月 24 日
プログラム参加 の目的	・ 英語による会話に慣れること。 ・ 英語力を向上させること。 ・ 今後の大学生活や就職に活かすこと。 ・ 海外の文化や人々との交流。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュー ル等)	・ 自分の趣味を英語で説明した。 ・ モンタナ州についての英語の動画を視聴し、視聴後にプログラム参加者や現地の学生と意見交換した。 ・ モンタナ州の中で各個人で一つの都市を選び、情報を集めてプレゼンテーションを行った。 ・ "r" と "l" などの発音の練習を行った。 ・ モンタナ州立大学の校内を現地の方に Zoom を通して案内してもらい、案内の中で出てきた情報をクイズにして楽しんだ。 ・ フルブライト TEA プログラムの参加者と簡単なゲームを通して交流した。 ・ 日本で外国人が行くべきと自分が思う観光地を選び、モンタナ州立大学生とフルブライト TEA プログラムの参加者にプレゼンテーションを行った。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

- ・英語で会話する際の、考えたことを英語で表現する要領を得た。今までは、英文を前もって書いておき、それを読むだけだったが、本プログラムでは考えた事を瞬時に英語で話さなければならなかったため、考えを整理し、英語にして話す英会話の基本を身につけられた。
- ・モンタナ州の自然や観光地、モンタナ州立大学の校風を知ることが出来た。
- ・英語でのプレゼンテーションをする際の手法を身に着けた。プレゼンテーションの構成の仕方や簡潔な説明を心がけること、質問の受け答えなど、日本語でのプレゼンテーションでも役立つことだった。
- ・英語で話すことへの抵抗感がなくなったこと。
- ・英語を話す時など緊張する時は“I am excited!”と自分を奮い立たせることが、効果的で大切な心構えであることを、プログラムの授業の中で学んだ。

プログラム参加全体を通しての感想

熊本大学に入学して初めて、英語に関するプログラムへの参加だったのでとても不安だったが、終わった現在はとても充実したプログラムだったと思います。

始めは英語を話すこともたどたどしく、自分の考えを英語で言えず、悔しい思いもしましたが、プログラム内で英語を聞き、話し続ける内に、自分の満足がいくまでに英語を話せるようになり、とても嬉しかったです。

また、プログラム内では英語でのプレゼンテーションを2回行ったが、プレゼンテーションの構成を考え、いかに聴衆の興味や注意を惹きつけるか、どう説明すれば分かりやすいかを考えたため、プレゼンテーションの基本を身に着けることが出来たと思います。

フルブライト TEA プログラムの方々との交流では様々な国籍の方と話すことができたため、楽しかったです。例として、ニカラグアやタジキスタンの方もいました。

プログラムの中では心構えである”I am excited!”がとても印象に残っています。

今回このプログラムに参加して本当に良かったと思いました。プログラムの準備を下さった熊本大学の国際教育課の方々や、モンタナ州立大学の Nadya 先生や他のモンタナ州立大学生の方、フルブライト TEA プログラムの参加者の方々、そして今回のプログラムに参加した他の熊大生の皆さんに深く感謝します、ありがとうございました。

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Cさん
所属・学年	文 学部・大学院 コミュニケーション情報 学科・専攻 1 年
プログラム実施 大学名	モンタナ州立大学 (国名 : アメリカ)
プログラム期間	2021 年 9 月 8 日 - 2021 年 9 月 24 日
プログラム参加 の目的	英語による、コミュニケーション能力を向上させるため。 アメリカの大学の雰囲気を知るため。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	1週目：水曜日から金曜日：動画を見て、ディスカッション 土曜日：現地の大学生と交流 2週目 火曜日・水曜日 動画の内容についてのディスカッション 木曜日：プレゼンテーションの練習 金曜日：プレゼンテーション(モンタナについてのトピック) 土曜日：現地の大学生との交流 3週目 火曜日・水曜日 ディスカッション 木曜日：最終プレゼンテーションに向けての練習 金曜日：最終プレゼンテーション(日本の紹介したい場所)

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

プログラム全体を通して、アドバイザーとして現地の学生さんがついてくださっていたので、会話に使う自然な表現や、効果的なプレゼンテーションを行うには、どのようにすればいいかなど、的確なアドバイスをくださっていました。

そのアドバイスは、語学力の向上だけではなく、英語を使う表現の幅を広げてくれるものでした。また、1日のうちにも何度か、ブレイクアウトルームで他の参加者と、英語を使って交流することができ、コミュニケーション能力の向上も実感しています。

プログラム参加全体を通しての感想

このプログラムは、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催でしたが、現地での授業を受けているのと同じような感覚で毎時間楽しんで参加することができました。

モンタナ州についても、様々な活動を通して理解を深めることができる貴重な機会となりました。プログラム中、ワクチンの副作用や突然の怪我でお休みすることになった時にも、先生がとても心配してくださって、私が困ることがないように配慮をしてくださり、とても嬉しかったです。このプログラムは、私の持っていた視野を広げ、英語を「楽しんで学ぶ」という本来の目的を思い出すきっかけとなりました。ここで生まれた交流をこれからも大切にしていきたいです。

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Dさん
所属・学年	文 学部・大学院 歴史 学科・専攻 3 年
プログラム実施 大学名	モンタナ州立大学 (国名：アメリカ)
プログラム期間	2021 年 9 月 8 日 — 2021 年 9 月 24 日
プログラム参加 の目的	英語の能力の向上、とりわけスピーキング能力の向上を第一の目的としてこのプログラムに参加した。また、同時に、アメリカの文化や生活等について知れたらと思い、このプログラムに参加した。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	このプログラムは、10 分間の休憩を含めて、午前中に 1 時間 40 分間行われた。授業では、先生からの質問に答えたり、モンタナ州についての動画を見て、その話題について話したりした。また、モンタナ州についてのプレゼンテーションと日本のお勧めの場所についてのプレゼンテーションを行った。土曜日のプログラムでは、会話の活動や大学の紹介が行われた。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

プログラムの参加を通して、参加前と比べると、英語を聞き、反応することができるようになったと思う。同時に、たとえ自分の言葉で上手く表現できないことがあっても、伝えようとする姿勢を持つことが大切であると感じた。聞き手は、私の伝えたいことを理解しようとしてくれ、私が表現したい言葉を言ってくれることがあるからだ。また、英語だけでなく、プレゼンテーションの仕方も学習することができた。プレゼンテーションの最初に質問や図、写真で聞き手の興味を引き付けることや簡単に何を話すかを示すことなど、今回学んだことは、今後プレゼンテーションを行う際にも活かしていきたいと思う。加えて、モンタナ州の人々やアクティビティについても知ることができた。

プログラム参加全体を通しての感想

プログラム初日は少し不安だったが、先生や現地のサポートしてくれた方々、他の参加した学生と皆親切で、話しやすく、楽しい時間を過ごすことができた。語彙が思い浮かばない場面や瞬時に受け答えすることができない場面もあったが、プログラムを通じて、徐々に反応できるようになり、英語を話すことやプレゼンテーションを行うことに対する自信を少し持つことができたように思う。また、モンタナ州の雄大な自然や文化、アクティビティについても知ることができ、コロナが明けたら、実際に訪れてみたいと感じた。コロナ後、海外を旅行するときのためにも、より英語で会話できるよう、これからも英語の勉強に励みたい。今回、このプログラムで、楽しい充実した時間を過ごすことができてよかった。

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	E さん
所属・学年	工学部 情報電気工学科 4 年
プログラム実施 大学名	モンタナ州立大学 (国名：アメリカ)
プログラム期間	2021 年 9 月 8 日 — 2021 年 9 月 24 日
プログラム参加 の目的	来年度から就職をするにあたって、英語力を向上させたいと考え参加しました。TOEIC の点数は 750 点を取り、リスニングをリーディングに少し自信を持てましたが、全く話すことができなかったため、英会話をしたいと思いました。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	授業では、テーマを決めて 2 回発表を行いました。発表の練習を学生同士で行って、改善を加えていきました。また、リスニングのテーマをそれぞれ与えられて、内容を発表することもありました。発表では先生からのフィードバックもありました。授業を通じてモンタナの文化を学びました。モンタナ州立大学の学生の方と交流もしました。学生の皆さんは自分より英語力が高かったため、学生の方との会話も勉強になりました。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

プログラムの参加により、英語を話すことにためらいがなくなりました。以前は正しい英語を話さなければならないと感じていましたが、わからない単語や文法があっても、なんとなく意思疎通ができました。英語を話すことに時間がかかっていましたが、今後はスムーズに意思を伝えることができそうです。また、人前で発表するという経験が今までほとんどなかったため、プレゼンの方法についても学ぶことができました。聞き手の興味を引くための話し方など教えて頂きました。

プログラム参加全体を通しての感想

オンラインでの開催でしたが、特に問題なく、十分に学ぶことができました。モンタナ州立大学の先生もとても親切にしてくださいました。このプログラムで、英語に触れることができました。英語の話すことに抵抗がありましたが、今は考えたことを話せるようになりました。モンタナ州を訪れることはできませんでしたが、現地の学生の方と交流をしたり、文化を学ぶことができて良かったです。毎日英語に触れることはなかなかないため、貴重な経験になりました。今回のプログラムをきっかけとして、英会話を続けたいと考え、英会話の授業を履修することにしました。今後も勉強していきたいと考えています。

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Fさん
所属・学年	教育 学部・大学院 小学校教員養成 学科・専攻 1 年
プログラム実施 大学名	モンタナ州立大学 (国名： アメリカ)
プログラム期間	2021 年 9 月 8 日 — 2021 年 9 月 24 日
プログラム参加 の目的	本場の英語に触れることで英語によるコミュニケーション能力の向上と、英語のスキルアップを目的として参加しました。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	Nadya 先生の授業は火曜日から金曜日にあり、MSU の学生さんとの交流が土曜日にありました。授業は 90 分で間に 10 分休憩を挟んでいました。水曜日は宿題で出されたリスニングの内容についてブレイクアウトルームで話し合い、一度発音練習の授業もありました。17日にはモンタナ、24日には日本のおすすめスポットについてのプレゼンテーションをしました。プレゼンテーションの前日にはブレイクアウトルームでプレゼンテーションの練習をし、お互いにアドバイスをしたりしました。MSU の学生さんとの交流では熊本とモンタナに関するゲームをしたり、キャンパスツアーをしたりしました。熊大生含め 40 人近くの方が参加してくださっていたのでたくさんのネイティブスピーカーの人とお話することができました。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

このプログラムに参加し、二つのプレゼンテーションをしたことによってどういうふう
にプレゼンテーションをしたら聞いている人に面白いと思ってもらえるのか、を学ぶこ
とができました。Nadya 先生や他の三人のネイティブスピーカーの先生がたくさんアドバ
イスをしてくださるので、自分のプレゼンテーションには何が足りなくてどうしたら良
いのかを学ぶことができました。Karsen 先生は教育学部に所属している先生で、同じ教
育学部にも所属している方なのでアドバイスの仕方や説明の仕方など、とても勉強になり
ました。発音の練習では、言いにくい単語の羅列もスムーズに言えるようになりました。

プログラム参加全体を通しての感想

今回のプログラムは、二つ目だったので前回のあまり積極的に話せなかったという反省
点を改善することを目標に参加しました。しかし、誰か教えてくれませんかと言われた時
に発言する勇気が出ず、積極的に話すことができませんでした。これは私が英語を勉強す
る上での課題だなと感じました。このプログラムに参加して、効果的なプレゼンテーシ
ョンの仕方について学ぶことができました。緊張して、練習通りのプレゼンテーションはで
きませんでした。なんとか伝えることができたと思います。MSU の学生さんたちは、同
じ大学生なのに授業の回し方がうまくて、とても勉強になりました。また、熊本とモンタ
ナのクイズの時に、熊本についてたくさん調べてあり、ゲームを通して熊本のことに興味
を持ってもらったみたいだったのでとても嬉しかったです。授業やキャンパスツアーを
通して、モンタナのことについてたくさん知ることができました。また、このプログラム
に参加しなければ出会わない人たちともたくさん出会うことができました。ありがとう
ございました。